

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
前橋市元総社町六七番地
電話 027・255・3434
FAX 027・255・3435

蠟梅の香りは春がそこまで来ていると感じさせてくれます。草花の寂しいこの時期に可憐で甘い香りは蠟梅の花言葉「慈愛」そのものように心に安らぎをあたえてくれ、帰宅した玄関で優しく迎えてくれます。

ノイエス朝日のギャラリイも新年を迎え、多くの作家の方々や鑑賞者の皆様が来廊され賑やかな一年が始まりました。

ノイエスでの初個展の作家七名の新作も楽しみですし、初のコラボレーションによる作家たちのグループ展も興味深いものがあります。きつと作品を拝見しながらいろいろなお話が出来ることでしょう。

先日、友人に誘われて一時間半ほどの散歩に出かけました。

行き先は、上野国分寺跡です。広大に広がる畑の中の農道を歩くのですが「国府白菜」の枯れた葉が道の両側にあり、歩くとカサカサと音をたて心もウキウキしてきます。友人には「町の子だねえ」などと言われましたが、遠く赤城、榛名、妙義の山々が美しく見え、実に楽しい時間でした。上野国分寺跡は、奈良時代の天平十三年(七四一年)に聖武天皇が国ごとに僧寺と尼寺を造ることを命じ、これが国分寺で後に僧寺が「国分寺」と言われるようになったそうです。

今から一二十年以上も昔のことです。高崎市東国分町と前橋市との境に位置していて、現在では塔(六十以上の七重塔)や金堂の基礎が復元され、塔の基礎には十七個の礎石が並んでいます。実際にその塔や金堂を見ることは出来ませんが想像しただけでロマンが広がります。礎石に耳をあて、昔の人々の足音を感じました。

ガイド施設「上野国分寺館」は入館無料で二十分の一の七重塔の模型や国分寺跡から出土した瓦などが展示してあり、係の方が親切に説明して下さいました。開館時間は午前九時～午後四時三十分、休館日もありますのでガイド施設「上野国分寺館」電話(027・372・6767)で確認してから出かけて下さい。

今は、復元された築垣も見られます。創建当時の工法と同じく、棒でつき固めた土を積み上げる版築で造ったそうです。

とにかく、群馬にはすばらしい財産があるのだと改めて感じました。「空っ風」に背中を押されて帰宅して再び蠟梅の香りに包まれました。人の幸せというものは、個人個人で違うものですが、誰にでもこんな経験は温かいものを心に残してくれることでしょう。(武藤)

ノイエス朝日(展覧会のご案内)

小熊律子とその仲間たち

小池千恵子・中林三恵・中村美子

会期 二月九日(土)～十七日(日)
午前十時～午後五時
会場 ノイエス朝日スペース1・2

岩手県盛岡市に住む小熊律子さんと友人の中村美子さん、そして前橋の小池千恵子さん、中林三恵さんの展覧会。

小熊律子さんは、ホームスピンの作品づくりをしています。ホームスパンとは、「家庭で紡がれた」という意味でスコットランドの羊毛農家が残り物の羊毛を自家用に紡ぎ織ったことから、そう呼ばれたと言われています。

岩手では、明治時代になって国が官服や軍服用の毛織物の需要が多くなってからイギリス宣教師の製織法の指導をえて羊毛を糸にしてニットや織物にしてみました。スコットランドの風土と似ている岩手県にはそのような歴史があるそうです。小熊さんは、現在、岩手大学の芸術過程(美術)コース非常勤講師として染織室で指導の傍ら、服地、マフラー、ブランケット、羊毛や手績み麻を使ったタピストリーを制作しています。

小池千恵子さんは絵画作品や創作バッグなど、中林三恵さんは版画作品、中村美子さんはアイコンや石に描いた作品を展示販売します。

和久井英明油彩画展 ―森を描く―

会期 二月二十三日(土)～三月三日(日)
午前十時～午後五時
会場 ノイエス朝日スペース1・2

ノイエスで二年ぶりの個展です。

北軽井沢で制作を続けている和久井英明氏の森をテーマにした近作の数々をお楽しみ下さい。会期中、作家は在廊しています。

ノイエスショップオープンのお知らせ

ノイエス朝日(ギャラリイ)のエントランスを入りスペース2の一部(今まで事務所としていた部分)を二月中旬よりノイエスショップとしてオープンいたします。

ノイエスで個展やグループ展をされた作家の小品作品や朝日印刷で自費出版された方々の著作を展示販売いたします。また、隣のDiPS・A(ディップス・アサヒ)で小部数から印刷の出来るオンデマンド印刷のご案内もいたします。DiPS・Aでは、輸入文具や世界に誇る日本製ノート、また一枚から購入出来る特殊紙五十種も用意しております。お誘い合わせの上、ノイエスとディップスへお立ち寄り下さい。きつと新しい出会いがあります。

(DiPS・Aは、日曜及び祭日はお休みです。)
DiPS・Aの電話 027・254・1212

生誕一三〇年・没後五十年記念 企画展
探検家 矢島保治郎展

昨年十一月にノイエスで実施いたしました「生誕一三〇年記念 上州の探検家・矢島保治郎」小松健一作品展の矢島保治郎の生誕の地、伊勢崎市で展覧会と講演会が行われることになりました。皆様、お誘い合わせの上、お出かけ下さい。(パンフレットはノイエスにあります)

期間 三月二日(土)～二十四日(日)
午前九時～午後五時
休館日 月曜日・祝日の翌日

会場 赤堀歴史民俗資料館(入館無料)
電話 0270・63・0030

講演会 小松健一「絆 郷土と矢島保治郎をつなぐ 中国くちベット紀行」
三月二日(土)午後二時～三時三十分
会場 赤堀支所2階けやきホール(無料)
申込み開始日 二月二十三日(土)～
資料館へ電話予約(定員一三〇名)